

もしもの災害、あなたは大丈夫？

防災意識を高めよう

4月から、留萌市に引っ越してきました留子さん。いつどこで起きてもおかしくないといわれている災害に対して、不安を持ちながら生活しています。「日頃から災害に対する心構えや地域住民の助け合いが大切というけれど、実際留萌市って災害があるのかな」など防災に関する疑問を解消するため、留萌市防災担当の吉田さんにお話を聞きました。



留萌市総務部
総務課防災担当主査

よし だ ひろ ゆき
吉田博幸さん

雨の強さと災害発生状況

1時間降雨量 (ミリ)	予報用語	災害発生状況
10以上20未満	やや強い雨	この程度の雨でも長く降り続く時は、注意が必要。
20以上30未満	強い雨	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30以上50未満	激しい雨	山崩れ、崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50以上80未満	非常に激しい雨	マンホールから水が噴出し、多くの災害が発生する。
80以上	猛烈な雨	雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。



4月から、市民の仲間入り

きた うみ とめ こ
北海留子さん

あなたの防災意識は？

留子 今日、お忙しいなかよろしくお願ひします。
吉田 よろしくお願ひします。
留子 まず、地震や洪水などの災害は、いつ起きてもおかしくないと聞かれています。本音で本音ですか？

吉田 本音です。ニュースなどで報道されていたとおり、昨年は福岡県や宮城県などで、一昨年は新潟県などで大規模な地震が起きました。今年に入ってから国内では、豪雪による被害をはじめ、大雨による洪水や土砂災害が発生しています。

留子 日本は、震度4以上の地震が毎年30回程度発生するほど、地震が多い国だと言われています。

吉田 しかし、その一方で、災害に対する防災意識が低いという指摘もあります。留子 それはなぜだと思いますか？

吉田 勿論、防災意識が高い人もいるのですが、やはりどこかで「自分は大丈夫」と過信しているところがあるのではないのでしょうか。

留子 留萌市はこれまで大規模な災害に遭遇したことはあるのですか？

吉田 はい。昭和63年8月、集中豪雨による留萌川の氾濫で、汚泥の堆積や土砂崩れが発生しました。

留子 その時の被害状況は？

吉田 幸い、人的被害は無かったのですが、住家被害では、床上・床下浸水の



一昨年の9月には、台風18号が留萌市を襲いました

棟の数が3367棟、世帯数が3710に達しました。また、多くの市民の方が避難しました。

留子 留萌でもそのような災害があったのですか。昭和63年という日本初の屋根付き球場「東京ドーム」ができた、ソウル五輪が開催された年ですね。昭和63年の災害を体験されて、どのようなことを感じましたか？

吉田 災害には、子供や高齢者などいわゆる「災害弱者」が巻き込まれやすい傾向にあります。日頃から災害に対する備えを万全にし、地域連携や協力体制を整えなければなりません。

留子 最近では災害が起こっていますか？

吉田 一昨年の9月には、台風18号が留萌を襲いました。また、その年の12月には、地震が起きました。

留子 留萌も結構、災害が起こっているのですか。

市民防災訓練に参加しよう

留子 やっぱ防災訓練は必要ですね。吉田 そうですね。災害はいつ、どこで発生するかわかりません。いざ、地震などの災害が起こったら、冷静さを失いがちです。冷静に判断し、状況にあった行動を取るためには、日頃からの訓練が大切だと言えます。

留子 自主防災組織とは、何ですか？

吉田 「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えを持つ地域の人たちが自発的に防災活動を行う組織です。自主防災組織では、正しい情報の伝達町内・隣近所への声かけ、災害弱者への支援、スムーズな避難誘導、避難所での相互協力活動が期待されます。

留子 防災訓練を開催する予定は？

吉田 市では、「市民防災訓練」を9月3日(日)午前9時から、港東、港西コミュニティセンターと、春日児童センターの3箇所を会場(避難所)として周辺町内会を中心に実施します。訓練当日は、訓練開始と同時にサイレンが鳴ります。ぜひ、参加してくださいね。

留子 わかりました。今日は色々ありがとうございました。

もしもの災害に備える

留子 家の中ではどんな備えが必要ですか。例えば、地震が起こった場合は？

吉田 冷蔵庫や食器棚が倒れたり、棚の上の物が落ちてきたりすることが原因で、怪我をするケースが目立ちます。家具類の固定はしっかりと行い、家具や棚の上に、物を置かないようにしておきましょう。

また、地震の揺れで、窓ガラスが割れることがあります。窓ガラスに飛散防止のフィルムを貼ると効果的です。

留子 他には何かありますか？

吉田 速やかに脱出できるように玄関のチェックを行ってください。

住宅の玄関は、いざというときの非常避難口となりますので、普段から整理整頓しておきましょう。



津波の発生のある場合は、十分気を付けよう

「おかしも」で上手に避難

留子 電気・水道・ガス、電話などのライフラインが断絶した場合は？

吉田 ライフラインが断絶されている間は、最低限の安全な生活を確保するために、水、食料、乾電池などの備蓄が必要です。非常食料は、長期間保存ができ、持ち運びやすいものを用意しましょう。例えば、缶詰、なるべく缶詰

の必要のないものを選びましょう。また、非常時持ち出し品リストを用いて、事前に用意しておきましょう。

●非常時持ち出し品リスト					
品	目	品	目	品	
	懐中電灯		携帯ラジオ		飲料水
	非常食		タオル		貴重品
	その他ライター、ナイフ、缶切り、ティッシュなど。予備の電池は、多めに用意しておきましょう。		救急セット		衣類
	ロープ				

家族構成や人数に合わせた事前の準備が大切です

留子 災害に備えて、他にありますか？

吉田 日頃から連絡方法や避難場所を確認しておくことが大切です。最近では、万一の時の家族への連絡方法として、NTTや携帯電話会社の災害伝言ダイヤルなどがありますので、家族で話し合っておくと良いですね。

留子 「おかしも」とは何ですか？

吉田 「おかしも」とは、「お(お)押さない(か)駆けない(し)しゃべらない(も)戻らない(し)の頭文字をとったものですが、児童が学校で避難訓練を行う時に、「おかしも」の約束を守りながら、上手に避難しているようです。参考になりますね。

●防災に関するお問い合わせ

総務部総務課防災担当
電話 42・1801